

ちょうきしぜんたいけんむら

たてしな子ども長期自然体験村



〜^み見て、^ふ触れて、^{かん}感じて〜

^{ゆき}雪と^{どうぶつ}動物と13人の^{なかま}仲間たち

牛と馬の学校

スキーで歩きたてしなの自然

クラブ活動

バケツ00ン!?



まばたきでぎない位の
おもしろさ!



体験村について

体験村とは・・・

子どもたちがたてしなに集まって、九泊十日を過ごして、その中でいろいろなことを体験するのが体験村です。九泊十日のうち、三泊四日は牛・馬の学校の近くにある公会所（長野県佐久市東立科地区）に泊まります。残りの日は立科白樺高原ユースホステルに泊まります。

どんなことをするの？

表紙の見出しに書いてある牛と馬の学校、ネイチャースキー（山の中を歩くスキー）、クラブ活動、感謝祭（最後の夜にお世話になった人たちにいろいろな出し物をして感謝する会）などがあります。



Q、体験村で学んでほしいことは何ですか？

体験村でのいろいろなことを通して、自分になにができるのかを知ってほしい。そのことがわかれば、自分に自信をもてることを学んでほしい。そうやって最後は、自分に自信をもって、学校や社会でがんばってほしい。

Q、体験村で将来どんなことをしてみたいですか？

一つは演劇をやりたいです。演劇をするといつもと違う自分になれるから、きっと面白いと思うし、何か新しい発見があると思います。いい演劇の先生が見つかったらぜひやりたいです。

もう一つは、九泊十日の全てを東立科にある公会所でやりたいです。公会所の生活では、すべてを自分たちで工夫したり、みんなで協力をして過ごさなければならぬので、大変ではあるけれども、得るものもたくさんあると思います。

クラブ活動

一日目に、自分でやりたい部活を選んで入部します。その後は十日間を通して、少しずつ活動して、感謝祭でクラブごとに活動の成果を発表します。

村民音楽（おんらく）部

顧問のたろうに聞きました。

Q、どんな部活ですか？

楽しいことは何でもして、体験村のオリジナルテーマソングや思い出話を手話でやったりする、とても楽しいクラブです。



Q、どうして音楽部をやりようと思いましたか？

去年の体験村では芸能部をして、体験村の歌があったので、もっと歌を歌いたくて音楽部を作りたいと思いました。音楽とあそびを合体させて音楽（おんらく）部になりました。

アウトドア部



東立科ではバードウォッチングをしたり、広い原っぱなどを散歩して野生の動物のフンを拾ったりしました。ユースに戻ってからは、みんなでこねたうどんを外で切って、煮込んで食べました。その後にテントを張って、夜にはテントの中で泊まったりします。とにかく外で楽しいことをする部です。

出版部



いろいろな人にインタビューや取材をし、それを記事にして、パソコンで編集、雑誌を作りました。この雑誌は体験村のガイドブックになるものです。クリエイティブなことをして、ゼロから何かを生み出す大変さや面白さが味わえる部活です。

馬と牛の学校

馬の学校では・・・

まきばカフェという牧場で、オーナーの原口さんやスタッフの人に教えてもらいながら、馬のお世話（ボロ取り・エサやり・ブラッシングなど）をしたり、乗馬を楽しみました。乗馬では裸馬（鞍をつけていない馬）にも乗りました。夕方には牧場のまわりでたき木を拾い、たき火をして魚を焼いたりしました。

オーナーの原口さんに聞きました。

Q1 どうして馬の学校をやることにしたのですか？

村長と会って話をした時に、同じ考えを持っているのがわかったので、体験村のお手伝いをすることにしました。

Q2 どんなことを学んでほしいですか？

今の子どもたちは動物と触れ合うことがない。
だから馬と触れ合うことによって、動物の習性や気持ちを知ってほしい。
そして動物ともっと仲良くなってほしい。
最初は馬もみんなも緊張していて、僕らもドキドキしているけど、
だんだん慣れてきて、みんながニコニコしてくるのを見るとうれしい。

スタッフの人に聞きました。

Q1 馬の学校ではたらいっている感想を教えてください。

じゅんPさん：馬もみんなも緊張していても、みんなが馬に「ありがとう」の気持ちを伝えてくれれば、馬にも気持ちは通じる。その時が一番うれしいです。

Q2 こどもの様子を見てどう思いますか？

じゅんPさん：みんな毎回成長している。したいことを決めて、まきばカフェに来ることはいいことだと思う。



じゅんPさんとサクラ



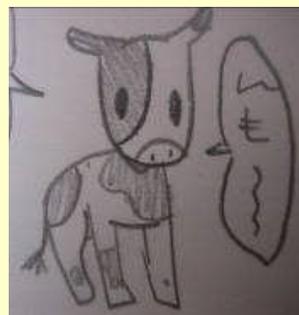
牛の学校では・・・

あべさんという牛の学校の先生に教えてもらいながら、あべさんの飼っている牛にエサをあげたり牛舎のそうじをしたり、さくにゆう機で乳絞りをしたりするのが、牛の学校です。
その後は、けもの道（やせいの動物がたくさん歩いて出来た道）を歩いたり、牛乳をペットボトルに入れて、それをふってバターを作ったりしました。

あべさんにいろいろな話をしてもらいました。

風土とは？

あべさんの牧場は風土舎といいます。
風土とは、地面と風のふれあう所のことを言います。
地面があべさんたちのことで、風が体験村参加者のことです。
地面と風があって何かが生まれる。



酪農家さんが早起きなわけ

牛や馬を飼っている人のことを酪農家といいます。
昔は、保存がきかなかつたから、朝ごはんを間に合わせるために早起きして牛乳をしぼったからです。

どんなことで春を感じるのか

春の草花が動き出した事。（ふき、なずな、など）
春の鳥が鳴き始めたこと（ヒバリが3月に、キジバトが2月に）

ながらてきぱきとは？

いろいろな仕事を同時にやること。



風土舎のあべさん



まずは一緒に走ってさわってみる。慣れてきたら、馬に乗れたよ。裸馬にも乗れた！

世界初！？馬とのインタビューに成功！



馬のアラシにききました。

- Q1 ごはんはおいしい？
アラシ:うまい
- Q2 原口さんはやさしい？
アラシ:やさしい
- Q3 じゅんPのこと好き？
アラシ:すき
- Q4 まきばカフェにのぞむことは？
アラシ:ごはん大盛

馬の学校で夕食を食べよう！



俺は魚焼き職人。



北海道から届いた魚です！

みんなで作ったおにぎり〜



トラックいっぱい牛のエサ



搾乳機に指を吸われています
デーん！！



おそろおそろ近づきます

スプーンですくって食べました。

そしてあべさんから
いただいた牛乳で作った...



これがバケツプリンだ！

ネイチャースキー

雪の上を歩く時に使うクロスカントリースキーの道具を使って、
蓼科山の麓にある御泉水の森を歩きました。

三月三十日、東京や大阪では桜が咲き誇っているというのに、ここ蓼科山では雪が降っていました。

まずはお昼ごはんのおにぎりを自分で作って、出発準備完了！



まずは準備体操



最初は少しむずかしい



快調にすすんでいます



つぶれる～



雪だるまとピース!

雪玉があたりませんようにっ



雪の上でお昼ごはん



カモシカの足跡発見!



スキーでボブスレー!!

そこのけ そこのけ
てるきが とおる。



タンデムスキー～

～編集後記～



出版部部長兼名インタビューアー

クラブ活動で疲れたけど、どんなことでも苦労するということがわかったのでよかったですと思いました。普段出来ない馬にえさをあげたり乗ったりすることが、いち番体験村でよかったことだと思います。あと普段出来ない
感しゃ祭とかクロスカントリースキーができてよかったです。(S)

出版部副部長兼名筆記係

出版部はただ「大変だった」の一言しか言えません。
体けん村に来て、東京みたいな、と会のような所では馬や牛とふれあうことがないので、たてしなの9泊10日に来れることができてよかったです。
体けん村に来て、やることなすこと全部自分でやらなければいけないし、何もかも大変でした。(C)

出版部顧問

他の部活に比べると派手さはありませんが、地道な活動の積み重ねを目指していたので、充実した活動ができたと思っています。みんなが体験した事をこの様な形にして残せるのは大変うれしいです。このガイドブックがずっとみんなの宝物になることを願っています。(M)

出版部副顧問

取材から締め切り前の苦しみまで、大人にも負けない活動を繰り広げた出版部の面々。
この部活で、「つくりだす」ことの大変さと楽しさを知ってもらえたならうれしいです。
これからもクリエイティブに！(S)

オフィシャルガイドブック

たてしな子ども長期自然体験村

2008年版



名誉編集長 原口あじ

企画・編集 2008年体験村出版部

取材・執筆 2008年体験村出版部

写真 2008年体験村出版部・ゆり

デザイン 2008年体験村出版部

取材協力 立科白樺高原ユースホステル
蓼北牧場・風土舎
まきばカフェ
佐久市東立科区

2008年4月2日発行

発行人 松平松千代

編集人 遠山桜

発行所 2008年体験村出版部

本社 〒384-2305

長野県北佐久郡立科町女神湖通り1020

立科白樺高原ユースホステル

ホームページ <http://shinshu.fm/MHz/08.73/>

本誌掲載の写真、記事の無断転載、転写を禁じます。ただし、体験村関係者においてはこの限りではありません。